

松阪神社の狛犬



松阪神社の境内には、堂々たる石造狛犬が鎮座しています。実はこの狛犬は、社会事業などの幅広い分野で助成を行ってきた公益財団法人・原田積善会によって寄進されたものだということをご存じでしょうか。

同会の創設者である原田二郎（1849～1930年）は、殿町の紀州藩士の家に生まれ、のちに実業家として活躍した人物です。松阪神社との結びつきは、この原田家および原田二郎と深く関わっています。

江戸時代、原田家は同心町（現在の殿町周辺）に居住し、すぐ近くにあった雨竜神社（現・殿町カトリック松阪教会付近）を氏神として信仰していました。明治41年（1908）、雨竜神社が松阪神社へ合祀されますが、二郎は帰省の折には必ず松阪神社に参拝していたと伝記にも記されています。つまり、松阪神社は原田家や二郎にとってゆかりの深いお社であったのです。

また大正期には、松阪神社を県社（社格の一つ）へ昇格させようと奔

走するなど、その篤い思いを示すエピソードも残されています。結果的には昇格は実現しませんでした。松阪神社への深い信仰心が窺えます。こうした思いは没後も引き継がれ、遺志により原田積善会から松阪神社へ基金1万円が寄進され、一振の太刀も奉納されました。

その後、昭和11年（1936）4月には、滋賀県・大宝神社の木造狛犬（国指定重要文化財）を模した石造狛犬が奉納されます。材質は花崗岩で、石匠・野村保泉の作です。この立派な狛犬こそ、現在も松阪神社の境内に静かにその姿を留めているのです。

原田二郎の篤い思いを宿したこの狛犬は、いまも松阪神社の歴史を物語りながら、参拝者を迎えています。



歴史文化3施設のご案内

【開館時間】
9：00～17：00（16：30までにご入館ください）
【休館】
水曜日（祝日の場合は翌平日）／年末・年始

発行 NPO法人松阪歴史文化舎
〒515-0082 松阪市魚町1653

Phone: 0598-21-8600（事務所）

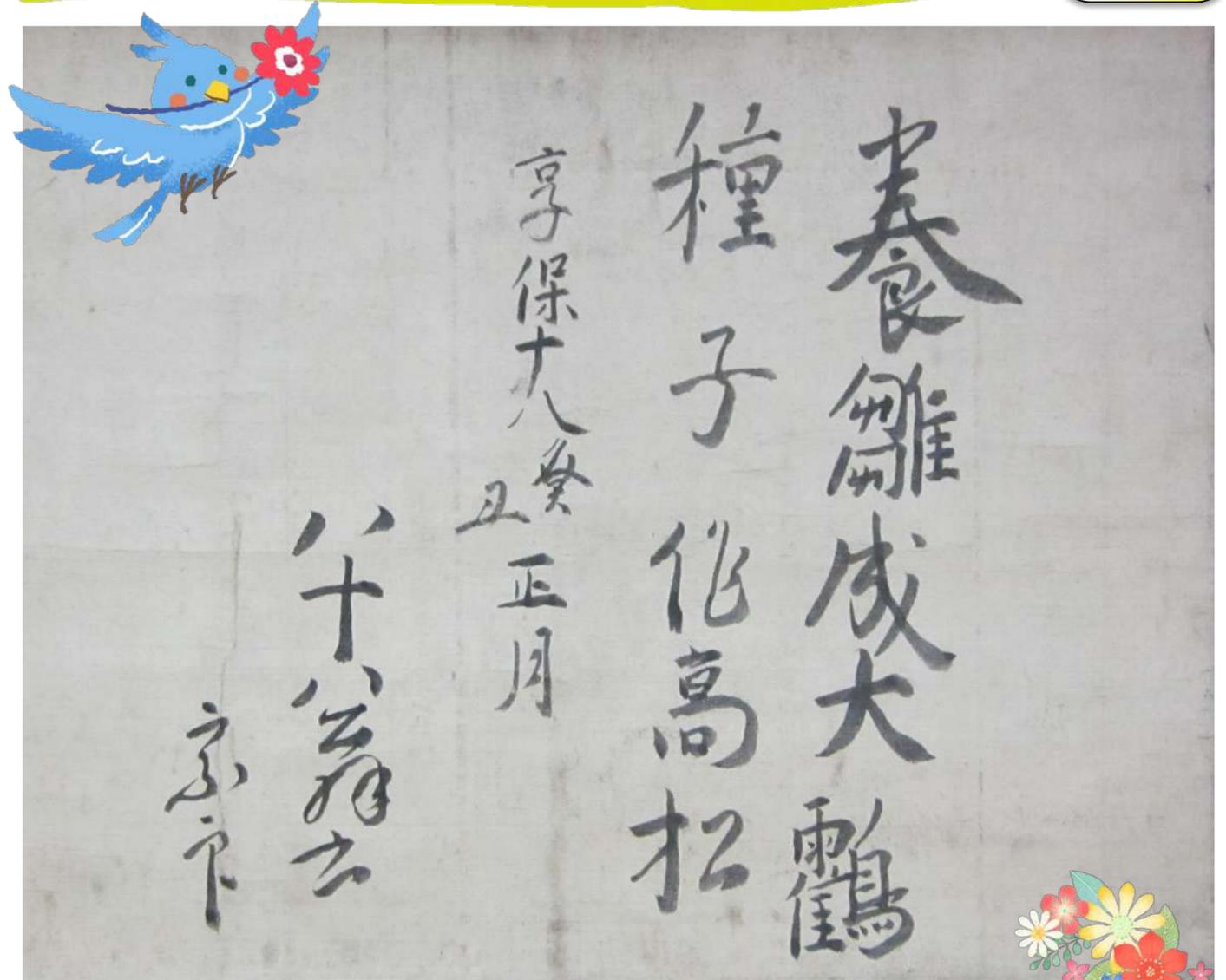
E-mail info@rekishibunkasha.onmicrosoft.com

HP https://matsusaka-rekibun.com/

- 【連絡先】
- ◆旧長谷川治郎兵衛家
Phone：0598-21-8600
- ◆旧小津清左衛門家
Phone：0598-21-4331
- ◆原田二郎旧宅
Phone：0598-23-1656



まつさか歴史文化かわら版



新春のお慶びを申し上げます

表紙の写真は、長谷川家に伝わる、創業の祖・長谷川家三代当主 政幸（宗印）の書です。本作は、政幸が享保18年（1733）正月、88歳の折にしたためたもので、「養雛成大鶴 種子作高松」という五言二行句が記されています。「雛を養えば大鶴となり、種を育てれば高い松となる」という大意で、小さなものを丹精して育てれば、やがて大きく立派なものへと育ちゆくという教えを示したものであろうかと思われます。長谷川家を本店へと導いた創業の祖らしい、力強い言葉といえるでしょう。当館もまた、この言葉を胸に刻み、本年を確かな成長の一年とすべく、一層力を尽くしてまいります。



今回の展示のみどころ！

旧長谷川治郎兵衛家

長谷川家のくらしと漆の美

1月17日(土) ~ 4月12日(日)

木などの素材に漆を塗り重ねた漆器は、丈夫で軽く、防水性や抗菌・殺菌性に優れており、食器や家具、または装身具など幅広い用途に使われています。長谷川家に伝えられた漆器は、普段使いのものからハレの宴に用いられるものまで多岐にわたります。

本企画展では、長谷川家のくらしのなかで慈しまれてきた様々な漆器のなかから、特に蒔絵などの装飾が施された漆器をご紹介します。あわせて、塗師や蒔絵師といった漆器に関わる職人の技もお楽しみください。



【薄鶉高蒔絵角切長硯蓋】
山本春正作 江戸時代後期



【展示解説】

2/7(土) 4/4(土) 11時より20分程度

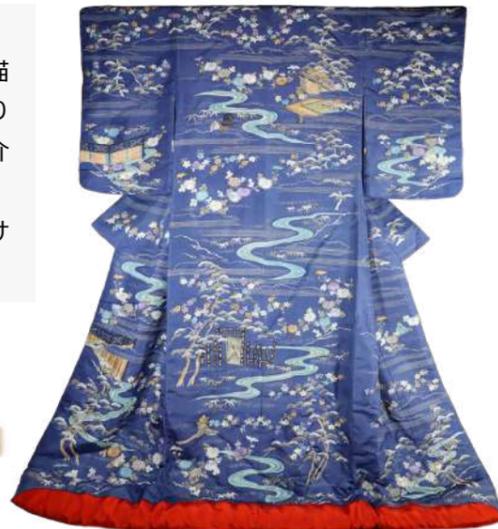
旧小津清左衛門家

商家に伝わる吉祥文様-松・竹・梅-

1月17日(土) ~ 3月29日(日)

松竹梅は、吉祥を表す図柄として、現在でもさまざまな場面で目にすることができます。厳寒のなか、松と竹は青々とした葉を保ち、梅は他の植物に先がけて花を咲かせることから、この三つを「歳寒三友」と呼び、古くから文人たちに好まれてきました。日本でも縁起のよいものとして親しまれ、絵画や工芸品など、数多くの美術作品に意匠として取り入れ

られています。本企画展示では、商家に伝わる「松・竹・梅」を描いた作品や、それらの意匠を取り入れた工芸品などの品々をご紹介します。新年を迎えるにあたり、おめでたい気分を感じていただけましたら幸いです。



【御所解文様打掛】

【展示解説】

1/31(土) 3/14(土) 11時より20分程度

原田二郎旧宅

原田二郎ゆかりのお社

~雨竜神社と松阪神社~

1月17日(土) ~ 4月26日(日)

現在、殿町のカトリック松阪教会が所在する場所には、かつて素戔鳴尊を祀る雨竜神社がありました。雨竜神社は、蒲生氏郷が城と城下町を築く以前の矢川庄(松阪中心市街地一帯の古称)の氏神として鎮座しており、江戸時代には松阪の四天王社(祭神は牛頭天王=素戔鳴尊)の一つとして信仰されていました。明治41年(1908)に松阪神社へ合祀されました。原田二郎の伝記によれば、原田家はもともと雨竜神社の氏子であり、二郎が帰省した際には松阪神社へ参拝していたと記されています。

また、昭和11年には原田積善会により狛犬が奉納されています。本展示では、原田二郎ゆかりの雨竜神社・松阪神社に関する資料や、二郎との関わりを示す品々をご紹介します。



【展示解説】

2/28(土) 4/25(土) 11時より20分程度



【雨竜神社扁額】
(松阪神社所蔵)

イベントのご報告

●マジックショー



10月19日、旧長谷川治郎兵衛家の大正座敷にて、Diamond-Taku(ダイヤモンドタク)さんによるマジックショーを開催しました。2回目のご出演となるTakuさん。今回も鮮やかな手さばきで、会場



は終始笑顔と驚きに包まれました。歴史ある座敷の落ち着いた雰囲気の中で、不思議な世界を楽しんでいただけたのではないかと思います。

●旧家で楽しむ三味線の調べ

11月30日、旧長谷川治郎兵衛家の大正座敷にて「旧家で楽しむ三味線の調べ」を開催しました。

歴史ある空間に響く三味線と尺八の音色は、訪れた皆さまの心に深く沁みわたり、和の趣を存分に感じていただけたひとときとなりました。当日は、三味線の西尾峯一さん・西尾峯侑さん、尺八の藤川岱純さんの演奏に加え、篠塚力和季さんによる踊りも披露され、華やかな舞が会場をさらに盛り上げました。

